

安全・生活

レスキュー隊は住民の生命を守ります

箕面市消防本部には、豊能消防署に10人、箕面消防署に20人の総勢30人のレスキュー隊員がいます。火災や交通事故を始めとする災害現場などに出動し、特殊な救助資器材を使って人命救助を行います。

昨年中の町内での救助出動件数は5件（交通事故5件）で、1人の方を救出しました。

近年、全国で大規模な地震や集中豪雨などの自然災害が相次ぎ、災害現場は複雑多様化しています。また、近畿地方に被害を及ぼす南海トラフ巨大地震発生の危険性が高まっています。

これらに対応するため、消防本部には、倒壊した建物などから逃げ遅れた人を探す「地中音響探知機」や「熱画像直視装置」など高度な救助資器材を積載した救助工作車を配備しています。

レスキュー隊は、住民の生命・身体を災害から守るため、安全・確実・迅速を基本とした、救助技術の向上に全力で取り組んでいます。

問〓豊能消防署 ☎7360-0110

救急車の適正利用にご協力を

箕面市消防本部では、限られた台数の救急車を適正に利用していただくため、「救急安心センターおおさか」☎#7119（つながらない場合は06-650827119）の活用をお願いしています。

急な病気やけがで「救急車を呼んだ方がいい?」「病院に行った方がいい?」「応急手当の方法は?」「近くの救急病院はどこ?」などと迷ったら、いつでもお電話ください。

看護師が、医師の支援体制のもとに24時間365日、病気やけがの緊急性の判断、応急手当のアドバイス、適切な救急病院の案内を行っています。緊急時には最寄りの消防本部へ電話を転送し、救急車の要請も行います。

緊急性がない場合は、自家用車やタクシー、または民間の搬送事業者を活用していただくよう、ご協力をお願いします。

問〓箕面市消防本部消防企画室

☎724-9009

豊能消防署

☎736-0110

子どもの水難事故を防ぎましょう

これからの季節、川や海など、水辺での事故が危惧されます。特に子どもの水難事故は毎年全国で発生しており、事故を防ぐためには、大人が水辺での危険性を認識することが大切です。家族で川や海へ行つたときは、決して子どもから目を離さないでください。

また、町内には多くの池があり、誤って落ちてしまうと、大人でも簡単に上がることはできません。危ない場所には近づかないよう、家族で話し合っておきましょう。

なお、子どもの水の事故は、浴槽や洗濯機など家庭内でも起こる可能性があります。小さな子どもがいる家庭では、日頃から十分注意してください。

問〓豊能消防署 ☎736-0110

「水道週間」が始まります

もうすぐ真夏。水に親しむ季節がやってきます。水道水は生活のいろいろなところで、さまざまな産業で使われており、私たちの生活を支え、潤っています。

今年も6月1日(木)から7日(水)まで「水道水 安心・安全 これからも」をスローガンに「水道週間」が始まります。

豊能水道センターでは、6月3日(土)午前9時30分～正午まで、阪急オアシスときわ台店前で災害用備蓄水（先着200本程度）の無料配布を行います。

この機会にもう一度、水の大切さについて考えてみませんか?

問〓豊能水道センター

☎7368-3611



身の回りの危険物の取り扱い に注意!

私たちが日常使用しているものの中には、消防法で貯蔵や取り扱い方法などを規制している「危険物」が数多くあります。

例えば、化粧品のマニキュアや除光液、石油ストーブの燃料の灯油、自動車の燃料のガソリンや軽油などです(特にガソリンなどは厳しく規制されています)。これらの危険物は、取り扱いを誤れば火災などの事故を引き起こす危険性があります。

危険物による事故の原因は、不注意によるものが大半を占めています。保管、取り扱いには、次のことに注意してください。

- ①火気の近くで保管や取り扱いをしない
- ②必要以上に買いだめしない
- ③地震などで倒れたり、落下しない場所での保管する

問 箕面市消防本部予防室
☎ 724-00010

豊能警察署管内の特殊詐欺発生状況 (令和5年1月からの認知件数)

町	認知件数	被害額
豊能町	電話認知件数	12件
	メール等認知件数	25件
	被害件数	1件
能勢町	被害額	3,500,000円
	電話認知件数	3件
	メール等認知件数	15件
	被害件数	3件
被害額		805,000円

交通事故発生状況 (令和5年4月中の件数)

大阪府豊能警察署

種別	豊能町	能勢町	合計
人身事故	0件	1件	1件
死者数	0人	0人	0人
重傷者数	0人	0人	0人
軽傷者数	0人	1人	1人

「横断歩道ハンドサイン運動」実施中

自衛官募集

募集種目 = 自衛官候補生 (男子・女子)

対 = 18歳以上27歳未満の方

受付期間 = 通年

※応募方法や、その他の募集種目についてはお問い合わせください。

問 = 自衛隊豊中募集案内所

☎ FAX 06-6843-8400

昨年とのごみ量比較 (3月分)

単位: トン

	今年	昨年	対前年比
可燃ごみ	284.90	294.12	-3.1%
粗大ごみ	13.05	14.34	-9.0%
不燃ごみ	12.59	11.02	14.2%
蛍光灯	0.09	0.09	0.0%
乾電池	0.22	0.33	-33.3%
空きビン	8.43	8.77	-3.9%
空きカン	3.60	3.52	2.3%
紙類等	30.72	32.13	-4.4%
容器・ペットボトル	14.53	15.11	-3.8%
植木剪定くず	2.46	2.51	-2.0%
食用廃油	3.30	2.60	26.9%
小型家電	0.17	0.40	-57.5%
小型家電	0.08	0.06	33.3%
計	374.14	385.00	-2.82%

※容器・ペットボトル類、容器包装プラスチック類
(注) 速報値のため数値が変わることがあります。

【6月】資源とごみの収集日～分ければ資源、燃やせばごみ～

地域	可燃ごみ	不燃ごみ 有害ごみ	紙類等	空きビン	空きカン	容器包装プラスチック類 ペットボトル	植木剪定くず	備考
余野・川尻・木代・切畑・野間口 高山・牧・寺田・希望ヶ丘	火・金	14	21	21	28	7 21	14 28	粗大ごみ 有料・予約制 (環境課 ☎736-1190 事前に申し込みしてください) 受付時間: 午前9時～午後5時
吉川・ときわ台	火・金	8	15	15	22	1 15	8 22	食用廃油 役場本庁・吉川支所に回収ボックスを設置(各施設午前9時～午後5時まで投入可能、土・日・祝日・年末年始は投入不可)
東ときわ台	月・木	13	20	20	27	6 20	13 27	使用済小型家電 役場本庁・中央公民館・吉川支所・西公民館に回収ボックスを設置(各施設開庁時間中に投入できます)
光風台	月・木	9	16	16	23	2 16	9 23	
新光風台(保の谷含む)	火・金	8	19	15	22	5 19	12 26	

問 = 環境課 ☎ 736-1190